

留学先大学：パリ第7大学
 留学先での所属学部・研究科：人文・芸術学部
 留学先での在籍身分：1年生
 留学期間：2015年9月～2016年7月
 神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部
 学年（出発時）：3
 本報告書記入日：2015年11月3日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

パリの地図、メトロが詳しく乗っている本、旅行雑誌
 パリの日本人掲示板サイト（JIMOMO,OVNI,MixB）

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
- 住居（寮，アパート）の名前：Pitiè Salpêtrière
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：_____） その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：20分，
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

病院の敷地の中、駅は目の前
 中華街の近くで観光地からはずれているが、15分ほどで中心地に出られる。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

自炊

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

なし

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）紙、口頭
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

登録締め切りが、オリエンテーションで言われた日よりも1ヶ月ほど早かった。
 履修方法が複雑で、興味があり登録できる授業を、とりあえず登録した感じになってしまった。
 満員で受けられないものも多い。
 フランス語の授業との兼ね合いが難しい。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習，復習，テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	フランス語 écriture		2	2	15	中間、期末テスト
2	Litterature comparée		3	4	15	期末テスト、レポート（留学生特別枠あり）
3	texte mis en musique		3	4	50	中間、期末テスト、レポート（内容も難しく、留学生枠なし）
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

一コマ3時間が多い
主にテスト
学生はみな熱心でノートをパソコンでとっている人が半分近くいる。

一週間のスケジュール（授業時間，課外活動等，毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00			大学			予習、宿題	
9:00				授業			市場で買い物
10:00				—	大学		
11:00				—			部屋の掃除
12:00							
13:00				授業			勉強
14:00		授業		—			
15:00		—		—	日本語学 科交流		
16:00		—					
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

留学からおよそ三ヶ月ですが、本当に多くのことを学び、毎日充実した生活が送れています。まず、最初の事務手続きは相当な時間と根気が必要です。学生証発行に色々な場所をたらい回しにされ3時間もかかりました。履修登録は、オリエンテーションで言われた方法と全く違い、取りたい授業が取れないということが周りでも頻発していました。私は正式な時期に登録が出来ず、結局先生のサインでできるものを追加登録しました。それでも、ここでは初日から数えて3回の欠席で履修が取り消しになるため、あとから授業を増やすことは出来ませんでした。日本のように、授業をゆっくり決めることは出来なかったのです。この反省を活かして、後期の登録では登録期間が始まると同時に、オフィスへ行き登録しました。なので、後期はとりたい授業に集中することが出来そうです。

フランスでは、仕事が縦割りになっており、部署間の連携が無いに等しいです。なので、学校にかかわらずどこへ行ってもたらい回しにされ、冷たくあしらわれることの方が多いです。しかし、2ヶ月ほどして慣れてくると、フランス語ではっきり主張すれば事態が良くなることもあると学びました。意志や疑問を主張するのとしらないのでは、180度違う結果になるので、何事も自身を持って立ち向かう姿勢が大切だと思い知らされました。

授業では、聞き取るのが精一杯ではじめはディクテーション練習のようでした。しかし、パソコンでノートをとっている子にデータを送ってもらったり、聞き取った単語を繋ぎあわせて理解することが少しずつできるようになっています。授業は自分の興味のある内容で、先生も優しいので、今期は登録することができた、数少ない授業に集中しようと思います。

ほとんどの授業がテストとレポート両方あります。その分量も5-6枚が当たり前で、留学生を考慮して少なくしてくれる場合もありますが、皆一回のレポートでファイルごと提出しているのを見て驚きました。テストも、授業が3時間あれば3時間かそれ以上が普通で、書く分量がとても多いです。まだそこまでの分量をかける語学力がないため、これからも講義についていけるよう勉強を進めたいと思います。

そして、11月13日のテロ事件。その日の夜、地下鉄で事件近くを通過していたためニュースには驚きました。寮が病院の中にあるため、救急車が止まらず、事態の酷さには戸惑いました。翌日の外出禁止令も初めての経験だったので、死者が出ている中、どんな気持ちになったらいいのかもわかりませんでした。しかし、行動力のある警察や、あちこちで厳戒態勢が取られている中で、私にできるのは留学を充実させることしか無いと感じました。パリ市民たちが、普段の生活場所で、普段の仕事をしているのを見て、私もテロの後すぐの平日からいつも通り、そしてより意欲的な生活を始めています。日本のニュースでは、パリ中心と書かれていましたが、これはもともとあまり治安の良くない、移民の多い場所で起こった出来事です。そして日本のように何日も悲しみにくれる報道はなく、感情が誇張されない事件の現実や、軍や警備の力を見せることのほうが多いように思います。毎週通っていた市場が危険場所になったのは悲しいですが、パリは狭いので当分は場所を選びながら生活しようと思います。